

「将来、予算が削られる不安」

福祉施設

「水土舎」施設長・金谷透さん

朝日 2/6 D3/4

ないか」

金谷さんは国の障害者政策については「福祉先進国の欧米と同様に『脱施設』の大きな流れとなるだろう」と評価する。

それだけに「地域福祉の充実が課題」とも。入所施設からの「脱施設」を進めるには、障害者の就労支援や地域生活支援の受け皿が不可欠という。

× ×

この日、富岡市。知的障害者授産施設「セルプ水土舎」の金谷透施設長(55)は、県予算を心配していた。

金谷さんは20%カットと、国が補助金を来年度から一般財源に回す点を挙げてこう言う。

「全体の予算も縮小の方向で、一般財源に回されると、今後福祉が削られる可能性もあるのでは

例えば、公共事業。03年度予算案では10%削減となった。その一方で予定価格の事前公表や、入札を監視する第三者機関の設置は宿題のまま。都道府県レベルで、第三者機関はすでに36導入されている。

県や市町村の予算は私たちの生活に直結。来年度、何が変わるか。